



確かな学力の向上をめざして【6月】

■教育相談体制の充実に向けて

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う学校等の休業や外出自粛等で、子どもたちは例年とは違う形で新学年をスタートさせています。行事やスポーツ大会等の中止・延期により目標を見つけれない子どもや、現在の社会情勢から家庭への不安感が増している子どもがいるかもしれません。つまり、現在の状況は、例年よりも子どもたちのストレスや不安が強く、不適応反応が出やすい状況にあると考えられます。子ども達の安心・安全な学校生活を確保するため、今一度学校の教育相談体制の見直しを行い、教育相談活動の充実を図りましょう。

☆教育相談体制を見直すポイント☆

- ◇教育相談担当者と養護教諭、生徒指導担当者、特別支援教育担当者との連携は図られているか。
- ◇チームで支援する体制になっているか。
- ◇話し合いが継続的に行われるようなシステムがあるか。
- ◇スクールカウンセラー(SC)、スクールソーシャルワーカー(SSW)との連携は図られているか。

Point

既存の会議の見直し(構成員など)を行い、機能の改善・充実を図りましょう!

具体的には何をしたらいいの?



例えば、『生徒指導委員会』の構成員に、SCやSSW、教育相談担当、特別支援教育主任、養護教諭といった職員が参加すれば、生徒指導・支援の機能を高めることができます。現在の構成員を基に、より効果的な会にするための見直しをしてみましょう。

Point

SC・SSWを積極的に活用し、未然防止・早期対応の取組を進めましょう!

SCの活用

◆すべての児童生徒を対象とした予防的取組

児童生徒の状況や学校のニーズを把握し、SCと協働して児童生徒に心理教育を実施することができます。

児童生徒に対する心理教育実践例

- ・ストレスマネジメント
- ・感情コントロール
- ・不安、緊張への対処法
- ・友達と仲良くなる心理学
- ・ソーシャルスキルトレーニング
- ・コミュニケーション力
- ・を身に付ける

◆カウンセリング等の個別支援

(※詳しくは学校配置のSCに御相談ください。)

SSWの活用

◆スクリーニング会議の実施による早期支援

気になる(支援が必要な)児童生徒を早期から組織として把握し、早期発見、早期支援につなげるために実施します。

スクリーニング会議の実施
(全児童生徒が対象)

- ・欠席回数、保健室来室回数等の項目を事前に選定し、スクリーニングシートとして準備しておく。
- ・スクリーニングシート等をもとに気になる児童生徒を把握し、支援や見守りの方針等を検討する。

ケース会議

担任等による支援・見守り

今こそチーム学校で、児童生徒支援を進めましょう!

